

生活道路を優先的に整備する考えは

自営工事・補助など、地域にあった選択を

質問 町道などの改良工

事の現状、また、着工順序はどのように決定しているのか。

答弁 道路行政については、総合計画に基づき、道路と公共交通の環境整備を図る政策として、緊急性・必要性を考慮して進めています。

改良工事の状況は、幹線道路はかなり整備されてきています。集落内道路は、地元要望を受け、規格道路として地元の体制が整ったところから年度計画を立て、進めています。

きます。

質問 生活道路を優先的に整備できないか。

答弁 4 mの規格に満たない規格外道路について、用地交渉が難しく、幅員の確保ができない路線については、集落が事業主体となる自営工事、町で資材などの補助を行う制度など、地域にあった活用を選択されるように望みます。

巨額な費用をつぎ込むので、ある程度対応年数機能有するものを作りたいというのが町の姿勢

です。

また、集落内道路でも4 m道路に関しては、町の補助率は9割で、他の自治体と遜色はないと考えています。

○その他の質問事項
・南アルプスに関する広域観光
・2期目を終わるにあたっての総括と提言について



小林 光 議員



整備が求められている生活道路

「子育て支援のまち」として 税制優遇と病児保育の充実を

もう一段進んだ 新たな施策を考えている

質問 富士見町を「子育て推進の町」として、転入する子育て世帯や子育て支援に積極的な企業に対し、税の優遇措置を設ける考えは。

答弁 個々に税制優遇をもうける考えはありませんが、子育て中の各人には、これまでの対応よりも一段進んだ新たな施策も考えていますので、子育て支援体制もこれまでに以上で充実してくると思います。

質問 町内に一箇所でも病児保育の受け皿となる公的な場所が必要ではないか。

答弁 近隣自治体では既に実施されており、当町においても保育園と病院で実施可能を検討しています。しかし人的対応や施設面の課題もあり現時点では具体的な計画

はありません。

新年度においては、看護士の配置をする保育園もありますので、運用状況を見て、病児保育のあり方を考えていきます。

基本的に親でない人が熱の高い子供をお預かりして責任がもてるか、本当に大丈夫か、という不安があります。

最終的には、長い時間保育園でお預かりするのは無理がありますので、病院関係の方とも相談をして、子供が苦しい状態を長く続けないようなことを検討していきたいと考えています。

その他の質問事項

- ・行政区
- ・特産品開発
- ・ごみ減量化政策

について



エンジェル 千代子 議員